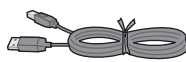
はじめにお読みください

箱の中身を確かめる

☐ Lexmark 2500 Series 本体

☐ カートリッジ
X2500 にはカートリッジが 1 個、X2530、X2550 には 2 個同梱されています。

☐ ソフトウェア CD-ROM 1 枚

☐ 取扱説明書
- 『安全のためのご案内、サービス・サポートのご案内』
- 『セットアップガイド』（本紙）
- 『ユーザーズガイド』
- 『操作ガイド』（CD-ROM に収納）

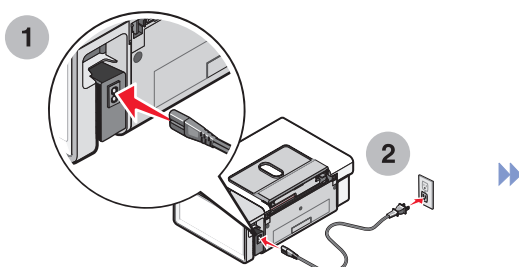
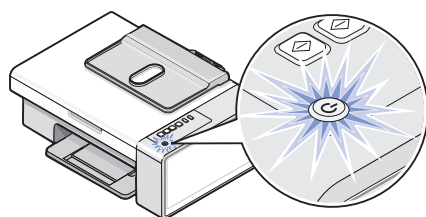
☐ その他
各種ご案内が同梱されている場合があります。

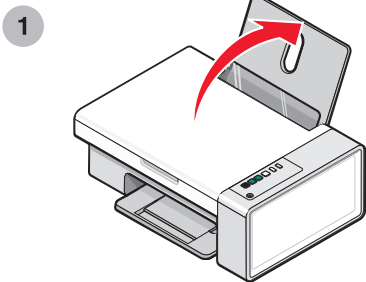
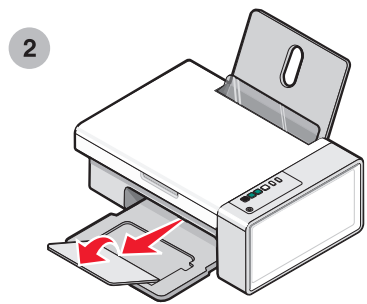
☐ 電源コード

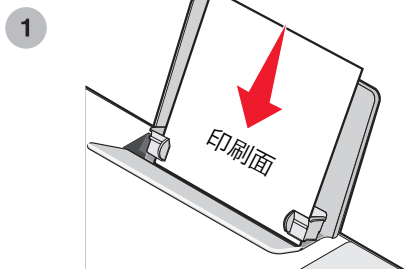
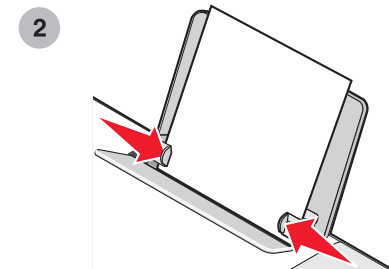
☐ USB ケーブル

⚠警告
- 雷のときは、電源コードの接続など本製品のセットアップを一切行わないでください。
- 電源コードに記載されている規定電圧以外で使用しないでください。感電、火災の原因となります。
- 必ず本機に同梱されている電源コードを使用してください。同梱の電源コード以外のものをご使用になった場合の結果につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

1 電源を入れる

⚠警告
①→②の順番をまちがえないようにしてください。感電、火災の原因となります。

①→②の順番で電源コードを差し込みます。

ボタンが点灯し、ボタンの左のカートリッジランプが点滅します。

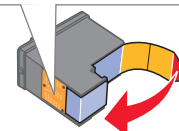
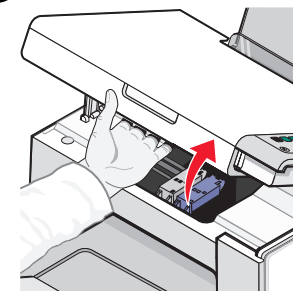
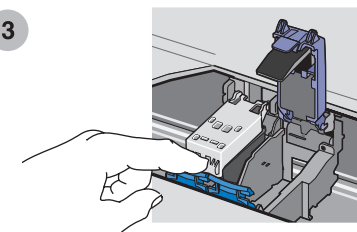
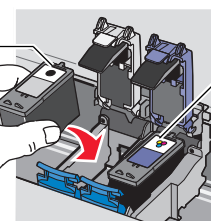
2 用紙サポートと排紙トレイを引き出す

1 用紙サポートを起こします。

2 排紙トレイを引き出します。

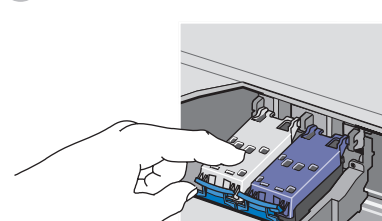
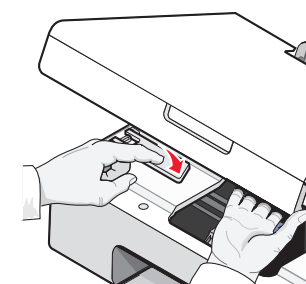
3 A4 サイズの用紙をセットする

1 印刷面を手前にして A4 サイズの普通紙を 10 枚程度セットします。

2 用紙ガイドを左右にスライドさせて用紙の幅に合わせます。

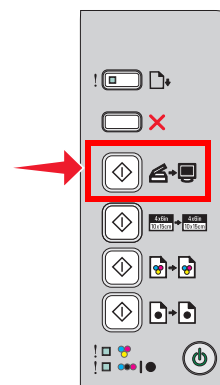
セットアップガイド

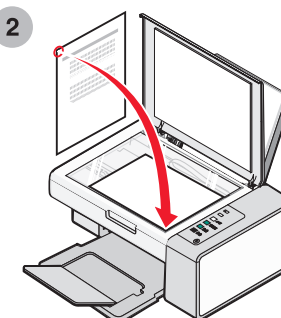
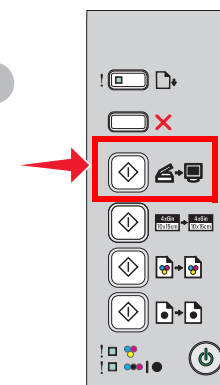
LEXMARK 2500 Series

4 カートリッジを取り付ける

⚠注意
金属面に手を触れたり、はがしたりしないでください。

1 カートリッジのテープの先端をつまんではがします。

2 メンテナンスカバーを開きます。カートリッジホルダーが自動的に中央の取り付け位置に移動します。

3 ロックレバーを手前に倒し、固定カバーを開きます。

4 カラーカートリッジを右側のホルダーに、ブラックまたはフォトカートリッジを左側のホルダーにセットします。

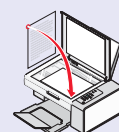
同梱カートリッジが 1 個の場合は該当するホルダーにセットします。

5 固定カバーを閉じます。

6 右手でメンテナンスカバーを少し持ち上げ、左手で固定レバーを倒します。そのままメンテナンスカバーをゆっくり閉じます。

5 プリントヘッドを調整する

1 用紙がプリンタ内に送り込まれるまで【スキャン】ボタンを押します。

プリントヘッド調整パターンが印刷されます。

2 印刷したプリントヘッド調整パターンの隅を原稿台の右下の矢印に合わせてセットします。

3 もう一度【スキャン】ボタンを押します。

スキャンの動作音がしなくなればプリントヘッド調整は終了です。

以上でセットアップは完了しました！

さっそく文書をコピーしたいなら…

本紙裏面をご覧ください。
文書をコピーする方法を紹介しています。

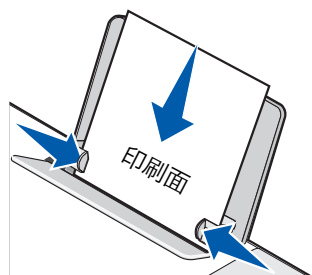
いろいろな機能を使ってみたいなら…

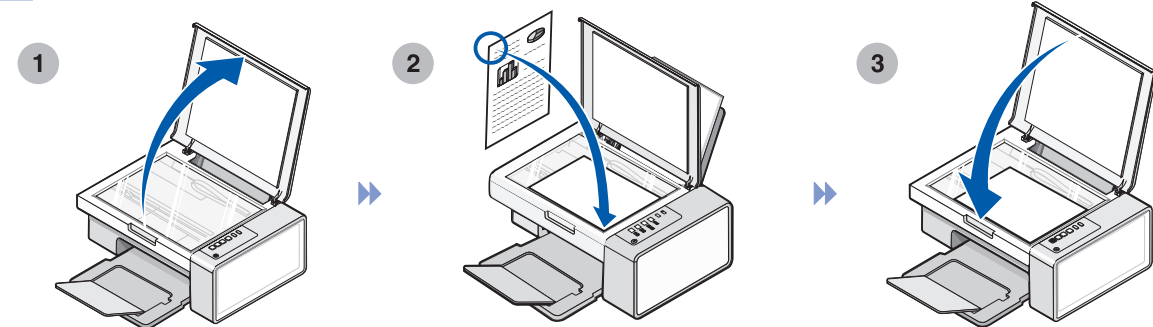
『ユーザーズガイド』をご覧ください。
パソコンに接続して使用する場合に必要なソフトウェアのインストール方法、および詳しい操作方法について説明しています。

P/N 21A0078 EC 11A006

コピーしてみよう

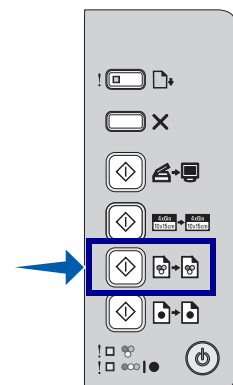
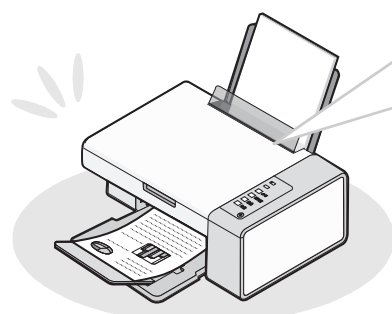
さっそくコピーしてみましょう。ここでは A4 サイズの文書を原寸大で A4 サイズの普通紙に 1 枚カラーコピーする方法を紹介します。

1 用紙をセットする

印刷面を手前にして A4 サイズの用紙を 10 枚程度セットします。左右の用紙ガイドをスライドさせて用紙の幅に合わせます。

2 原稿をセットする

1 原稿カバーを開きます。

2 原稿の隅を原稿台の右下の矢印に合わせてセットします。

3 原稿カバーをゆっくりと閉じます。

3 文書をコピーする

【カラーコピー】ボタンを押します。

はい！コピーできました。

こんなコピー方法も…

資料をコピー

写真を L 判の用紙にフチなしカラーコピー

もっといろいろな機能を使ってみよう！

パソコンにソフトウェアをインストールして使用するともっといろいろな機能が利用できます。たとえば…

- ●原稿を拡大・縮小・フチなしでコピー
- ●取り込んだ写真をメールで送信
- ●お使いのソフトウェアからきれいに印刷
- ●グリーティングカードを作成
- ●ポスター印刷

1 ソフトウェアをインストールする

『ユーザーズガイド』の「ソフトウェアをインストールする」の章に進みます。『ユーザーズガイド』はコピー、印刷、スキャン、FAX する方法を紹介しています。

2 Windows をお使いの場合『操作ガイド』を開く

ソフトウェア CD-ROM に収納されている『操作ガイド』（電子マニュアル）は、用紙のセットやメンテナンス方法を紹介しています。

Macintosh をお使いの場合『Lexmark 2500 Series ヘルプ』を開く

ソフトウェア CD-ROM に収納されている『Lexmark 2500 Series ヘルプ』（電子マニュアル）は、本機を Macintosh に接続して使用する方法やメンテナンス方法を紹介しています。

困ったときは

箱の中に足りないものや破損したものがある

» 販売店または下記のレックスマーク カスタマーコールセンターにお問い合わせください。

ボタンを押しても、ボタンが点灯しない

● 電源コードが外れていませんか？

» 電源コードを本機と電源コンセントにしっかりと差し込みます。

● 電源コンセントは正常に機能していますか？

» 別の電源コンセントに電源コードのプラグを接続してみます。または、他の家電製品の電源プラグをコンセントに差し込んで家電製品が正常に動作するか確認します。

カートリッジを取り付けられない

● メンテナンスカバーを開くと、カートリッジホルダーが中央の取り付け位置に移動しますか？

» 電源がオンになっていないとカートリッジホルダーは移動しません。メンテナンスカバーを閉じ、電源を入れなおしてから、もう一度カバーを開きます。

● 固定カバーを閉じることができますか？

» カートリッジがしっかりカートリッジホルダーにセットされているか確認してから、固定カバーを閉じます。

● 正しいカートリッジが取り付けられていますか？

» 同梱されているカートリッジを取り付けます。

ボタンが速く点滅している

● 用紙がつまっていませんか？

» つまっている用紙を取り除き、ボタンを押します。

● 用紙がセットされていますか？

» 用紙の短い辺を下にしてセットします。

ボタンがゆっくり点滅している

» カートリッジホルダーが途中で停止している可能性があります。以下の操作を行います。

（1）ボタンを押し、電源をオフにします。

（2）電源がオフにならない場合は電源コードを電源コンセントから抜き、本機の ボタンが消灯したら、差し込みなおします。

プリントヘッド調整パターンが印刷されない

● 用紙がプリンタ内に送り込まれるまで【スキャン】ボタンを押しましたか？

» 用紙がプリンタ内に送り込まれるまで 【スキャン】ボタンを押します。

● カートリッジの保護テープをはがしましたか？

» 表ページの「カートリッジを取り付ける」を参照してプリントヘッドを保護しているテープをはがし、カートリッジを取り付けなおします。

プリントヘッド調整パターンを原稿台にセットし、【スキャン】ボタンを押しても何もおこらない

● プリントヘッド調整パターンの印刷後、すぐに【スキャン】ボタンを押しましたか？

» プリントヘッド調整パターンの印刷を開始してから、約 5 分経過するとプリントヘッド調整はキャンセルされます。表ページの「プリントヘッドを調整する」に従ってもう一度実行します。

コピーすると白紙が排出される

● 原稿面を下向きにしてセットしましたか？

» コピーしたい面を下にし、原稿を原稿台にセットします。

● カートリッジの保護テープをはがしましたか？

» 表ページの「カートリッジを取り付ける」を参照してプリントヘッドを保護しているテープをはがし、再びカートリッジを取り付けます。

原稿が用紙からはみ出してコピーされる

● 原稿は正しく原稿台にセットされていますか？

» 原稿の隅をガラス面の右下の隅に合わせてセットします。原稿の短い辺を原稿台の右側にそろえます。

» セットした原稿がずれないようにゆっくりと原稿カバーを閉じます。

● 用紙が正しくセットされていますか？

» 用紙の短い辺を下にしてセットします。

● 用紙がまっすぐ給紙されていますか？

» 用紙は 10 枚程度用紙サポートにセットします。

A4 サイズの原稿の一部だけがコピーされる

● 本ページの「3 文書をコピーする」で、アイコンの左の【写真コピー】ボタンを押しましたか？

» 【写真コピー】ボタンは、ハガキサイズより大きな原稿をコピーできません。A4 サイズの原稿をコピーする場合は、【カラーコピー】ボタンを押します。

カスタマーサポートのご案内

本紙や付属の取扱説明書およびヘルプに沿って対処しても問題が解決しない場合は、レックスマーク カスタマーコールセンターまでお問い合わせください。

レックスマーク カスタマーコールセンター

TEL: 03-5651-5106　　FAX: 03-5651-5107

（年中無休　電話受付 午前 9 時 - 午後 7 時　FAX は 24 時間受付）

カスタマーコールセンターにお問い合わせいただく場合は、別冊子『安全のためのご案内、サービス・サポートのご案内』を参照してください。